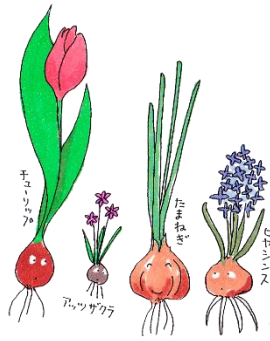


図書館だより

令和6年 4月 天理高校図書館



春休み期間に、本を借りた人は、返却するか、貸出を延長しにきてください。ご協力お願いします。



新学期が始まりました！！

★天理高校図書館は毎月「図書館だより」と「新着図書紹介」を発行しています。「図書館だより」では季節にあわせた特集や、話題の本を紹介しています。毎月届く新着図書はみなさんからのリクエスト本もたくさん含まれています。紹介された本はすべて図書館に置いてありますので、気になった本があれば、ぜひ図書館に来て、手に取ってください。どこにあるかわからない時は、遠慮なく尋ねてください。(*^_^*)

★「図書委員からのおすすめ本」特集を実施しています。昨年度の図書委員さんが、ぜひ読んでほしいと選んでくれた本と、手書きのポップを展示中です。

★図書館は月～金は8時30分から19時まで 土は14時まで開館しています。休み時間も開館していますので、ちょっとした隙間時間もご利用いただけます。

「図書委員からのおすすめ本」

『昔話法廷』

今井雅子 著 金の星社



お馴染みの童話を法廷で審議。最終的には、自分たち読者に審判が求められる。NHKでテレビ番組としても出たので、楽しく見れた。

『硝子の塔の殺人』

知念実希人 著 実業之日本社



主人公で医者的一条遊馬を含めた10人が硝子の塔に集められました。塔の主人、神津島から重大な発表があると言われるが、神津島は殺害されてしまう。硝子の塔で次々と殺害が行われ行く中、名探偵月夜と遊馬が犯人を突き止めていくというミステリー小説です。最後の最後で、全てのトリックが明かされる時はページをめくる手が止まりませんでした。何回読んでもおもしろい、最高のミステリーです。

『ハンガーゲーム』

スーザン・コリンズ 著 KADOKAWA



この本は北アメリカにあるペナムという架空の国家を舞台に、首都キャピトルを囲む12地区から12～18歳の少年・少女を一人ずつ選出し、24人で最後の一人になるまで戦う「ハンガーゲーム」に参加することになったカットニスが主人公です。ハンガーゲームはTV中継で映し出されるのですが、戦闘だけでなくスポンサーをつけるための様々な試行錯誤している様子もおもしろかったです。その他にもペナムの近未来的な雰囲気、カットニスの政府への不信感なども、この本の魅力です。

『シャーロック・ホームズの冒険』

コナン・ドイル 著 光文社



1冊の本で、10個の事件を解決しているのが、最高によいです。私は特に「ボスコム谷の惨劇」という作品が大好きです。事件が複雑すぎるのか、ただ私が追いついていないだけなのかは、分かりませんが、何度も読まなければ深いところまで、理解できません。それが楽しいです。

『コーヒーが冷めないうちに』

川口俊和 著 サンマーク出版



この本はフニクラフニクラという喫茶店のお話です。フニクラフニクラは「過去に戻れる」というウワサのあるお店で、過去に戻りたいという客が沢山やりますが、そこには、面倒くさいルールが、、、「コーヒーを入れてから、冷める間だけしか、過去には戻れない。」「戻れたとしても、その席から動くことできない。」「そして「過去に戻ってどんなことをしても、現実が変わりない。」そんなルールを聞いても過去に戻りたいという客は、どんな人なのでしょう。過去に戻って、亡くなった愛人に会いに行く？ 伝えそびれてしまった言葉を伝えるに行く？ ぜひ、自分はどうするか考えてみてください。未来に向かって歩み出すために過去に戻る人達の感動の物語です。シリーズになっているので、好きな本から読んでみてください。

『ウォーリーをさがせ』

マーティン・ハンドフォード 著 フレーベル



たくさんの方が入り乱れた絵の中から、ウォーリーというキャラを見つけるというコンセプトの本です。なかなか見つけることができないため、すごく難しいと思います。

『嫌われる勇気』

岸見一郎・古賀史健 著 ダイヤモンド社



青年と哲人の会話を通して、心理学に触れ、私自身の価値観が変わりました。世界は複雑なものではなく、あなた自身が世界を複雑なものにしています。この本を通して、心理学に触れ、あなたの心の悩みを軽くするきっかけにしてください。